

平成25年度

財政援助団体監査報告書

仙北市監査委員

仙 発 監 第 3 6 号
平成 2 5 年 6 月 1 8 日

仙 北 市 長 門 脇 光 浩 様
仙 北 市 議 会 議 長 佐 藤 峯 夫 様

仙北市監査委員 戸 澤 正 隆

仙北市監査委員 小 林 幸 悦

平成 2 5 年度財政援助団体監査の結果について

地方自治法第 1 9 9 条第 7 項の規定により、平成 2 5 年度の財政援助団体監査を実施した
ので、その結果を同条第 9 項の規定により報告します。

目 次

第1	監査の期間	1
第2	監査の執行年月日及び対象団体	1
第3	監査の方法	1
第4	監査の結果	2
	仙北市地域運営体交付金	3
	神代地域運営体	4
	中川地域運営体	6
	角館まちづくり地域運営体	8
	シルバー人材センター補助金	10

平成25年度財政援助団体監査報告書

第1 監査の期間

平成25年4月16日から平成25年6月14日まで

第2 監査の執行年月日及び対象団体

平成25年度の財政援助団体監査については、平成24年度に市が補助金等の財政的援助を与えた団体の中から次の団体を抽出し、監査を実施した。

執行年月日	監査対象団体	補助金等名称	所管部課等名
5月21日(火)	神代地域運営体	仙北市地域運営体交付金	総務部 企画政策課
5月21日(火)	中川地域運営体	仙北市地域運営体交付金	総務部 企画政策課
5月21日(火)	角館まちづくり地域運営体	仙北市地域運営体交付金	総務部 企画政策課
5月21日(火)	仙北市シルバー人材センター	シルバー人材センター補助金	観光商工部 商工課

第3 監査の方法

監査対象団体に係る出納その他事務の執行について、適正かつ効率的に行われているか、また、それに関する所管課等の事務が適正に執行されているかについて、関係諸帳簿の提出を求め、関係職員から説明を聴取し、その他必要と認めた監査を実施した。

なお、監査における主な着眼点は次のとおりである。

(所管課)

- (1) 補助金等の決定は、法令等に適合しているか。
- (2) 補助金等交付要綱は整備されているか。
- (3) 補助金等の交付目的及び補助対象事業の内容は明確か。公益上の必要性が認められるか。
- (4) 補助対象経費が明確になっているか。
- (5) 任意団体に対する補助金等の経理についての指導監督は適切に行われているか。
- (6) 補助金等の効果、条件履行の確認は実績報告書等により行われているか。

(補助団体)

- (1) 補助金等の交付申請書の提出、補助金等の請求・受領は適時に行われているか。
- (2) 補助事業は計画及び交付条件に従って実施され、十分に効果が上げられているか。

- か。
- (3) 補助金等が補助対象事業以外に流用されていないか。
 - (4) 補助金等の収支等会計経理は適正に行われているか。
 - (5) 出納関係の帳票の整備、記帳は適正か。
 - (6) 領収書等の証拠書類の整備、保存は適正か。
 - (7) 実績報告は適正に行われているか。

第4 監査の結果

今回は、市補助金等を交付している4団体について監査を実施した。各団体とも目的に沿った事業計画に基づき運営されており、補助金の交付事務、出納その他の事務は、おおむね適正に処理されているものと認められた。しかし一部に改善を要する事項も見受けられたので今後の事務処理に万全を期すよう要望する。

監査時に見受けられた事務処理上の軽微な留意点については、所管課長等に改善・検討を要望したので記述を省略する。

地域運営体3団体については、地域の課題について多面的・積極的な活動が行われていた。今後も魅力ある地域づくりへ向けた関係者の意欲的な取り組みに期待するものである。

また、仙北市シルバー人材センターについては、厳しい財政状況のなか高齢者の就業機会確保と生き甲斐創出に尽力されていることに敬意を表したい。

仙北市地域運営体交付金

1. 対 象 団 体

- ・ 神代地域運営体
- ・ 中川地域運営体
- ・ 角館まちづくり地域運営体

2. 要 望 事 項 等

- (1) 交付申請書・交付決定通知書等に根拠条文等の誤記、記入漏れ等が散見された。これらが補助金等の交付根拠書類であることを念頭に、正確な記載と審査を望む。
- (2) 領収書の金額や受領者名の訂正、不備が見受けられたので、経理上、適正な証憑管理を望む。このほか運営体役員や町内会長等が受領者となっている「一時預り金」としての取扱い事例も散見された。やむを得ない場合は、補助簿により本来の債権者への支払い事実を明確にしていきたい。
- (3) 事業が年度完結のため、総会開催時期等の関係で年度当初の運営資金がないなど経理上の「カラ期間」が生じているので、その解消策を検討していただきたい。
- (4) 会報の定期発行は、地域住民への周知のみならず活動への理解や参加意欲の醸成に資するものと評価したい。未発行の運営体への波及を期待する。
- (5) 市の各種補助金等と使用目的が重複していると思われる事業の有無について精査願いたい。また、昨年「地域運営体が実施する事業に関するガイドライン」が策定されたほか「地域運営体交付金の手引き」も逐次改訂されるなど事業運営上の基準が整備されつつあるが、各運営体の指針として一層の内容充実に努めていただきたい。

神代地域運営体

1. 補助金等の名称 仙北市地域運営体交付金
2. 担当部課等名 総務部 企画政策課
3. 補助金等交付金額 4,049,469円
4. 補助金等交付年月日 平成24年5月1日（交付確定 平成25年3月29日）
5. 実績報告年月日 平成25年3月29日
6. 補助金等交付根拠等 仙北市地域運営体交付金交付要綱
7. 事業の目的 地域振興と地域の安心・安全に関する事業を実施し、特色ある地域づくりを進める。
8. 事業の内容 ○地産地消拡大と農業所得向上対策事業
○市民が安心安全な生活の出来る街づくりの推進（除雪ボランティア）
○長寿を祝う会支援事業
○健康管理記録ノートの作成事業
○環境美化及び景観づくり
○安心・安全で潤いのある生活環境支援事業
○地域文化継承活動
○神代小学校運動会種目企画事業
○イルミネーション事業
9. 事業の効果・実績 **【効果】**
特産品（お土産）と地場産野菜を活用した二次加工品開発の調査研究及び販路開拓し、農業技術と農業所得の向上を図る。また、次世代での発展を期し、学校教育と連携して社会学習の中から農業への理解と普及を図る。
ボランティア組織による支援世帯の除雪作業、地域住民の健康管理ノートを作成配布し、安心感の持てる地域づくりの推進を図る。そして、安心安全で潤いのある生活環境美化への支援を進める。
【実績】
○地産地消拡大と農業所得向上対策事業（規格外野菜の粉末二次加工研究、学校教育との連携、6次産業講演会等実施）
○地域防災対策事業（高齢者交通安全啓発事業の実施）

- 地域環境美化事業（集落の道、排水路管理、一人暮らし家の整理枝切り）
- 長寿を祝う会開催支援（9月開催）
- 除雪ボランティア事業（604件）
- 健康管理記録手帳作成（2000部）
- 地域伝統文化の継承事業（伝承具修理、長寿を祝う会参加芸能協力）
- 神代小学校種目企画事業
- イルミネーション設置事業（神代こども園、神代小学校）

10. 平成24年度決算状況

収入の部		支出の部	
項 目	決 算 額	項 目	決 算 額
市 交 付 金	4,049,469	報 償 費	1,396,200
雑 収 入	141	旅 費	10,000
		需 用 費	1,084,658
		役 務 費	1,174,452
		使 用 料 及 び 賃 借 料	300,510
		委 託 料	83,790
合 計	4,049,610	合 計	4,049,610
翌年度繰越額（収入合計－支出合計）			0

中川地域運営体

1. 補助金等の名称 仙北市地域運営体交付金
2. 担当部課等名 総務部 企画政策課
3. 補助金等交付金額 2,776,637円
4. 補助金等交付年月日 平成24年5月21日（交付確定 平成25年3月31日）
5. 実績報告年月日 平成25年3月31日
6. 補助金等交付根拠等 仙北市地域運営体交付金交付要綱
7. 事業の目的 地域の融和、課題解決、夢の実現、産業育成、福祉、安心安全対策を進める。
8. 事業の内容
 1. 地域の活性化事業
 - 三省祭り世代間交流支援
 - 各集落雪祭り支援
 - 赤ソバ増産事業
 2. 地域安心・安全対策事業
 - 防犯啓発のぼり作成
 3. 地域内環境整備事業
 - ごみ不法投棄防止看板設置
 - 集落会館周辺整備
 4. 地域歴史文化の継承保存事業
 - 旧中川村歴史調査
9. 事業の効果・実績 **【効果】**

地域の一体感が醸成され、安心・安全な地域づくりに寄与する。

先人が残した文化や生活から、先人の知恵を学び、異世代間の交流を深める。これらの活動が地域の活性化につながる。

【実績】
 1. 地域の活性化事業
 - 三省祭り世代間交流（9月開催）
 - 各集落雪祭り支援（5集落実施）
 - 赤ソバ増産事業（蜜蜂10箱、熊よけ電気牧柵設置）
 2. 地域安心・安全対策事業
 - 防犯啓発のぼり作成（25本）

- 蛍光反射ベスト購入（10着）
- 3. 地域内環境整備事業
 - ごみ不法投棄防止看板設置（11ヶ所）
 - 集落会館周辺整備（15施設）
- 4. 地域歴史文化の継承保存事業
 - 旧中川村歴史調査（資料掘り起こし収集等）

10. 平成24年度決算状況

収入の部		支出の部	
項 目	決 算 額	項 目	決 算 額
市 交 付 金	2,776,637	賃 金	12,825
雑 収 入	127	報 償 費	100,000
		需 用 費	918,519
		役 務 費	22,920
		使 用 料 及 び 賃 借 料	200,000
		工 事 費	1,522,500
合 計	2,776,764	合 計	2,776,764
翌年度繰越額（収入合計－支出合計）		0	

角館まちづくり地域運営体

1. 補助金等の名称 仙北市地域運営体交付金
2. 担当部課等名 総務部 企画政策課
3. 補助金等交付金額 4,999,557円
4. 補助金等交付年月日 平成24年5月1日（交付確定 平成25年3月31日）
5. 実績報告年月日 平成25年3月31日
6. 補助金等交付根拠等 仙北市地域運営体交付金交付要綱
7. 事業の目的 地域振興を課題とした角館のまちづくりを進め、にぎわいを創造する。地域住民に地域運営体の存在価値を認めていただけるような活動の展開を図る。
8. 事業の内容
 1. 高齢者世帯支援事業
 - 除雪支援
 - 福祉支援（高齢者世帯巡回訪問）
 - 通院支援
 2. 地域文化の継承事業
 - 伝統行事支援 おまつり他
 - ブロック調査研究
 3. 環境美化事業
 - 花で彩るまちづくり
 - アメシロ駆除
 4. 地域の特性を活かした地域振興に繋げる事業
 - 施設維持管理
 - システム委託
 - イベント・展示
9. 事業の効果・実績
 - 【効果】

事業を通じて町内居住者の安心安全を確かめ、町内の連帯感を養う。
 - 【実績】
 1. 高齢者世帯支援事業
 - 除雪支援（除雪対象世帯119世帯）
 - 高齢者福祉支援タクシー（利用者数10人）
 - 訪問巡回マップ作成
 2. 地域文化の継承事業

- 伝統行事復活事業（灯籠流し）
- 伝統行事の継承（祭典）
- その他行事（鹿島流し補修・角館小唄）
- 3. 環境美化事業
 - 花で彩るまちづくり
 - 病虫害駆除
- 4. 地域の特性を活かした地域振興に繋げる事業
 - 会報「まち角通信」発行（年6回）
 - 拠点施設維持管理

10. 平成24年度決算状況

収入の部		支出の部	
項 目	決 算 額	項 目	決 算 額
市 交 付 金	4,999,557	賃 金	2,628,400
雑 収 入	196,262	報 償 費	823,274
		需 用 費	580,108
		役 務 費	183,257
		委 託 料	92,290
		使 用 料 及 び 賃 借 料	115,760
		原 材 料 費	560,735
		備 品 購 入 費	211,995
合 計	5,195,819	合 計	5,195,819
翌年度繰越額（収入合計－支出合計）			0

仙北市シルバー人材センター

1. 補助金等の名称 シルバー人材センター補助金
2. 担当部課等名 観光商工部 商工課
3. 補助金等交付金額 8,800,000円
4. 補助金等交付年月日 平成24年4月10日
5. 実績報告年月日 平成25年3月31日
6. 補助金等交付根拠等 高年齢者等の雇用の安定等に関する法律（第40条）
7. 事業の目的 高年齢者の経験と能力を生かし、希望に沿った就業機会を確保し、就業を通じて高年齢者の生きがいの充実や社会参加の推進を図るため、仙北市シルバー人材センターの事業運営を支援する。
8. 事業の内容
 - 受託事業
 - 一般労働者派遣事業
 - 安全・適正就業の推進
 - シニアワークプログラム地域事業
9. 事業の効果・実績 急速に進展する高齢化社会の中で、高年齢者の多様な就業ニーズに応えるため、就業意欲のある高年齢者に能力と希望に応じた短期・臨時的な仕事を確保・提供する事業を実施している。

※参考23年度実績 受注件数：1,635件
就業延人員：29,402人
会員数：312人（男222人、女90人）

10. 平成24年度決算状況

収入の部		支出の部	
項目	決算額	項目	決算額
受託事業収益	91,581,571	事業費	104,273,613
労働者派遣事業等受託収益	583,407	支払配分金	83,428,802
正会員受取会費	1,026,000	支払い材料費等	1,877,996
受取連合交付金	7,100,000	その他事業費	18,966,815
受取(市)補助金	8,800,000	管理費	5,033,494
シニアワークプログラム技能講習共同費収益	289,800		
雑収益	2,327		
合計	109,383,105	合計	109,307,107
翌年度繰越額(収入合計-支出合計)			75,998

11. 要望事項等

- (1) 国庫補助の削減、就業率や受託件数の減少等により運営環境は厳しさを増しているが、多様化する依頼職種と人材のマッチング、入会促進等、課題解決への工夫と努力を期待したい。
- (2) 補助金の算定基準を明確化するため、その根拠となるべき交付要綱の整備をご検討願いたい。